

「2026 年診療報酬改定に伴う加算」に係る掲示 など

〈 明細書の発行について 〉

当院ではお会計時に「領収書」「明細書」の 2 種類を無料でお渡ししています。
また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担のない方についても 2018 年度から、原則無料での発行が義務化されました。
(当院では 2016 年度から無料でお渡しをしています。)

明細書には、実際に診療で使った薬や処置の内容が詳しく書かれています。

※明細書が不要な方は、会計時にスタッフへお知らせ下さい。

〈 一般名処方について (一般名処方加算) 〉

当院では、後発医薬品の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取組などを実施しています。

後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方を行う場合があります。一般名処方によって特定の 医薬品の供給が不足した場合であっても、患者さんに必要な医薬品が提供しやすくなり、有効成分が同一の医薬品が複数あれば先発医薬品・後発医薬品 (ジェネリック医薬品) をご自身で選ぶことができます。

ご不明な点がございましたら、医師または薬剤師にご相談ください。

※ 後発医薬品のある先発医薬品 (長期収載品) の選定療養について

後発医薬品があるお薬で先発医薬品の処方を希望される場合は、2024 年 10 月 1 日より、特別の料金を自己負担でお支払いいただくこととなっています。

また、2026 年 6 月 1 日から、自己負担いただく料金割合が改定となり、

これまで : 先発医薬品と後発医薬品の価格差の 4 分の 1 相当

→6 月 1 日以降: 先発医薬品と後発医薬品の価格差の 2 分の 1 相当 となりました

詳しくは、こちらをご覧ください。

→ 2026 年 6 月以降に先発医薬品を希望した場合の自己負担の仕組み (厚労省 HP)

<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/001684925.pdf>

〈 バイオ後続品(バイオシミラー)の使用促進について 〉

当院では、厚生労働省のバイオ後続品の使用促進の方針に従い、患者負担の軽減、医療保険財政の改善を図るため、バイオ後続品(バイオシミラー)の採用及び導入に関する説明を積極的に行っております。

バイオ後続品(バイオシミラー)は先行バイオ医薬品と同等/同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品として、異なる製造販売業者より発売される医薬品です。

当院では、バイオ後続品を使用することがありますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。ご不明な点がございましたら、医師または薬剤師にご相談ください。

〈 外来化学療法について（外来腫瘍化学療法診療料） 〉

当院では、外来化学療法を行っている患者さんからの電話等による相談に 24 時間対応しています。緊急の際は、患者さんが入院できる体制を確保。地域の医療機関とも連携し、適切に対応いたします。

また、実施する化学療法の治療内容については定期的に委員会を開いて検討を行います。

〈 医療 DX 推進体制について（電子的診療情報連携体制整備加算） 〉

当院では、医療 DX を推進し、質の高い医療の提供に努めています。

電子的診療情報連携体制整備加算の施設基準に基づき、以下の体制を整備・運用しています。

- ・オンライン請求を行っています。
- ・オンライン資格確認（マイナ保険証）を行う体制を整備・推進しています。
- ・オンライン資格確認を利用して取得した診療情報を、診察室等で閲覧または活用できる体制を有しています。
- ・算定した診療報酬の区分・項目の名称及び点数を記載した詳細な明細書を、患者さんに無料で交付しております

〈 緊急時における夜間対応について 〉

患者さんの緊急病変時において、当院へ連絡をいただいた場合は、当直の看護師が対応させていただきます。

患者さんの病状を承った後、その日のオンコール医師にその旨を報告し、折り返し患者さんまで連絡し、医師の指示等をお知らせいたします。

但し、夜間の電話対応に対しては電話再診料に対して加算が生じますので併せて申し伝えておきます。

〈 ベースアップ評価料について 〉

当院では医療従事者の処遇改善を目的としてベースアップ評価料を算定しております。

〈 入院基本料に関する事項 〉

当診療所には、看護職員が 18 名以上勤務しています。

〈 入院時のお食事について 〉

入院時食事療養（Ⅰ）の届出を行っています。

管理栄養士によって管理された食事を
適時（朝 8 時、昼 12 時、夕 18 時）、適温で 提供しています。

● 文書料について（2026 年 6 月 1 日現在）

名称	料金(税込み)
普通診断書（当院様式）	2,200 円
診断書	4,400 円～ 8,800 円
休業・復職証明	2,200 円～ 6,600 円
各種年金関係診断書	4,400 円
死亡診断書	4,400 円
生命保険関係死亡診断書	4,400 円
生命保険関係回答書	11,000 円～22,000 円
生命保険関係面談料	22,000 円

※ 文書料には初診料、往診料、各種検査料は含まれません。

※ 追記は別途、料金をいただきます。

● 保険外負担について (2026年6月1日現在)

当院では以下の項目について
 使用量・利用回数に応じた実費の負担をお願いしています。

名称	料金(税込)
紙おむつ M	170 円/枚
L	190 円/枚
LL	200 円/枚
紙おむつフラットタイプ	50 円/枚
尿取りパッド	60 円/枚
リハビリパンツ M	170 円/枚
L	190 円/枚
ディスポシヨーツ	170 円/枚
伸縮胸帯	2,200 円/枚
ホワイトテープ	280 円/本
病衣代	150 円/枚
エンゼルセット	5,500 円/個
マスク	20 円/枚
<hr/>	
設備利用料 (1日)	924 円/日
入退院日 (半日)	462 円/日
<hr/>	
入院時駐車場代(事前要相談)	1~3 日目 1,000 円/日
	4 日目以降 1,500 円/日
<hr/>	
CD-R(画像データ)	(通常) 後日お渡し 550 円/枚
	(特急) 当日お渡し 1,100 円/枚
<hr/>	
結果郵送・管理費	330 円/回
文書コピー	20 円/枚
カルテ開示コピー	50 円/枚
処方箋情報提供	110 円/回

【基本診療料の施設基準等に係る届出】

- ◆ 電子的診療情報連携体制整備加算 2
- ◆ 時間外対応体制加算 1
- ◆ 有床診療所入院基本料 1
- ◆ 医師配置加算 1
- ◆ 看護配置加算 1
- ◆ 夜間看護配置加算 1
- ◆ 看護補助配置加算 1
- ◆ 看取り加算
- ◆ 有床診療所急性期患者支援病床初期加算及び有床診療所在宅患者支援病床初期加算
- ◆ 有床診療所入院基本料在宅復帰機能強化加算
- ◆ 有床診療所緩和ケア診療加算
- ◆ バイオ後続品使用体制加算
- ◆ 入退院支援加算 2
- ◆ 入院時食事療養 1

【特掲診療料の施設基準等に係る届出】

- ◆ がん性疼痛緩和指導管理資料
- ◆ がん患者指導管理料イ・ロ・ニ
- ◆ 外来腫瘍化学療法診療料 1
- ◆ がん治療連携指導料
- ◆ BRCA1/2 遺伝子検査(血液を検体とするもの)
- ◆ CT 撮影及び MRI 撮影(16 列以上 64 列未満マルチスライス CT)
- ◆ 外来化学療法加算 1
- ◆ 組織拡張器による再建手術(乳房 (再建手術)の場合 (内視鏡下によるものを含む))
- ◆ 乳癌センチネルリンパ節生検加算 2、 及びセンチネルリンパ節生検(単独)
- ◆ 乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの (内視鏡下によるものを含む)) 及び乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴うもの)
- ◆ ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後) (内視鏡下によるものを含む)
- ◆ 外来・在宅ベースアップ評価料 (I)
- ◆ 入院ベースアップ評価料

2026 年 6 月
うえお乳腺外科